

## 福井イオンビーム育種研究会を開催しました

若狭湾エネルギー研究センターは品種改良に利用可能なイオン加速器を備えた西日本で唯一の研究機関であり、国立研究開発法人理化学研究所と連携し「イオンビーム育種相談窓口」を設置しています。

この度新たな取り組みとして、イオンビームを用いた新品種の創出に向け、エネ研と来年 4 月から創造農学科を開設する福井県立大学とで関係する福井大学・県内研究機関および理化学研究所の研究者に呼びかけ、「福井イオンビーム育種研究会」を令和元年 12 月 13 日にエネ研で開催しました。

当日は、福井県立大学生物資源学部の村井教授の司会進行のもと、理化学研究所仁科加速器科学研究センターの阿部副センター長をはじめ、福井県立大学、福井大学、理化学研究所の研究者がそれぞれの研究報告を行いました。

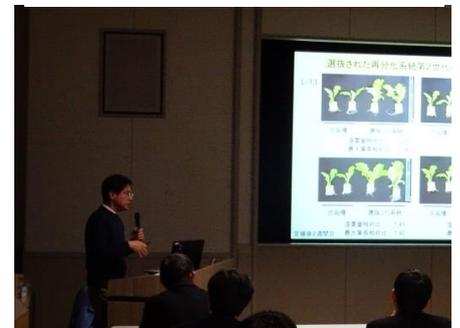
エネ研からは畑下主幹研究員が、「イオンビームによる植物工場用野菜の開発」、高城生物資源研究室長が「 $\gamma$ H2AX 検出によるイオンビーム照射効果研究へのアプローチ」、岩瀬所長が「照射効果を記述するイオンビームのパラメータはなにか？ -放射線物性研究からの考察-」について報告しました。

参加者からは「とても刺激を受けた。これからもこのような研究交流を続けて欲しい。」と好評でした。

今後ともエネ研は、品種改良に利用可能なイオン加速器を備えた研究機関としての特性を活かし、関係機関との連携強化を図り、新品種の開発を推進し、本県の農業振興に貢献していきます。



エネ研岩瀬所長の挨拶



発表の様子(エネ研)  
畑下主幹研究員



発表の様子(エネ研)  
高城生物資源研究室長



発表の様子(理化学研究所)  
阿部副センター長



発表の様子(県立大学)  
村井教授



発表の様子(福井大学)  
櫻井教授

## つるが環境フェア 2019 へ出展しました

つるが環境フェア 2019「グリーンピクニック」が、令和元年 12 月 14 日（土）に敦賀市のきらめきみなと館で開催され、多くの方が来場し、様々なプログラムを体験し、環境について考え、学びました。

エネ研のブースでも、「環境」に関するこれまでの取組成果のうち、集光レンズを使用する「太陽炉」や設計が容易で製造コストとランニングコストを低減した「ヒートパイプ」、新技術・新製品開発の支援事例などを展示しました。

また、エネ研に関するクイズを行い、子供から大人まで大勢の方に関心を持っていただきました。



エネ研ブースの様子

## 科学機器を使ってみませんか！ 研修参加者を募集中

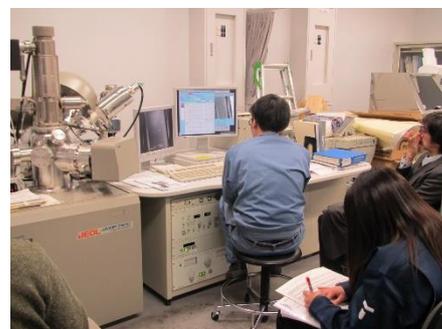
県内の企業等にエネ研の科学機器を商品開発や製品不良発生時の原因究明に役立てていただくため、11月12・13日にEPMA（電子プローブマイクロアナライザー装置）、11月19日にICP-MS（誘導結合高周波プラズマ質量分析装置）の研修を実施し、各機器に関する基礎知識や操作技能を参加者に修得していただきました。

今後、以下の研修を予定しています。皆様のご参加をお待ちしております。

- ・ 1月15・16日：AES（オージェ電子分光装置）
- ・ 1月21・22日：FT-NMR（フーリエ変換核磁気共鳴装置）

機器の特徴や研修内容、参加申込書については、エネ研ホームページ（<http://www.werc.or.jp/training/science/>）をご覧ください。

お問い合わせは企画支援広報部（TEL:0770-24-7273）まで。



AESを使った分析実習(前回の実習状況)



FT-NMRを使った分析実習(前回の実習状況)

本誌を読まれてのご感想、ご意見を下記担当あてお寄せください。また、エネ研では、福井県内の企業を訪問し、研究ニーズとシーズのマッチングを行っております。訪問をご希望の方も、下記担当までどうぞ。

郵便：〒914-0192 福井県敦賀市長谷 64-52-1

公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター エネ研ニュース担当 あて

E-mail : kikakushien@werc.or.jp TEL : 0770-24-7270 FAX : 0770-24-7275

